

一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造耐震専門委員会
木造耐震改修工事特記仕様書および標準図データ版

使用説明書

一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造耐震専門委員会

「木造耐震改修工事特記仕様書および標準図」(以下、本仕様という) データ版は以下の点に留意して使用して下さい。

1. 本仕様はCADデータ内に画像データを貼り付けた形式としております。
(貼り付けデータはBMP、JPG、TIFとなります。ご使用CADによりお使い分け下さい。)
2. AutoCAD、DRA-CAD、JwCADのA3版サイズ1/1縮尺の作例を入れてあります。
3. 図面枠はCADにて作成していますので枠のみ差し替えて頂ければお使い頂けます。
4. その他CADをお使いの場合は画像データをファイルに収めてありますので貴事務所にて画像データを貼り付けるなどの方法でご使用下さい。
5. 画像データはBMP、JPG、TIFの3種類と参考図としてPDFを収めてあります。
(PDFのみ参考図となりますので枠が入っています)
6. 画像データは貴事務所のCADの設定により販売初期のファイルを開いても表示されない場合があります。
画像データのリンク先を再設定の上、読み込んで下さい。(各CADの説明書などをご参考下さい。)
7. 本仕様で追記、修正する箇所はCADにてご記入下さい。
(標準図の図面と一緒に印刷することができます。)
8. 貴事務所の設計上、不要となる項目はCADにて斜線等を入れて下さい。
9. 各CADのファイルのバージョンはAutoCAD 2004形式、DRA-CAD 6形式、JwCAD 7.20形式にて保存しています。(バージョンの違いにより表示されない場合は項目4同様に貼り付けるなどの方法でご使用下さい。)

注意：本仕様画像データの修正は原則禁止とします。

画像データを修正し使用する場合は仕様書、各標準図右上の「一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造耐震専門委員会版」の部分を削除し貴事務所の責任によりご使用下さい。

2011.10 初版第一刷発行 一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造耐震専門委員会版
<input type="checkbox"/> その他
(3) 防蟻・防蟻の現場処理
<input type="checkbox"/> 塗布 <input type="checkbox"/> 吹き付け <input type="checkbox"/> その他
・ 処理回数は2回以上とする。
・ 処理薬剤は(社)日本しろあり対策協会または(社)日

画像データ編集の際は必ず削除下さい

この画像データの著作権は一般社団法人 東京都建築士事務所協会に帰属します。

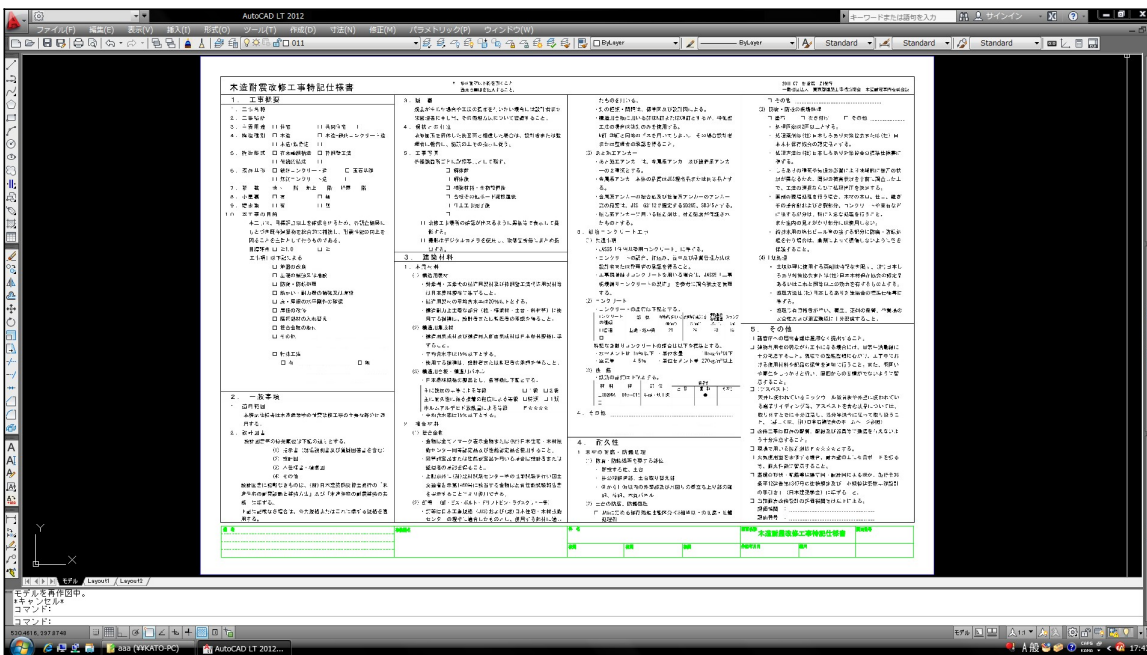
画像データ修正の有無、「一般社団法人 東京都建築士事務所協会 木造耐震専門委員会版」の記載の有無にかかわらず販売、二次配布を禁止します。

ファイル内容

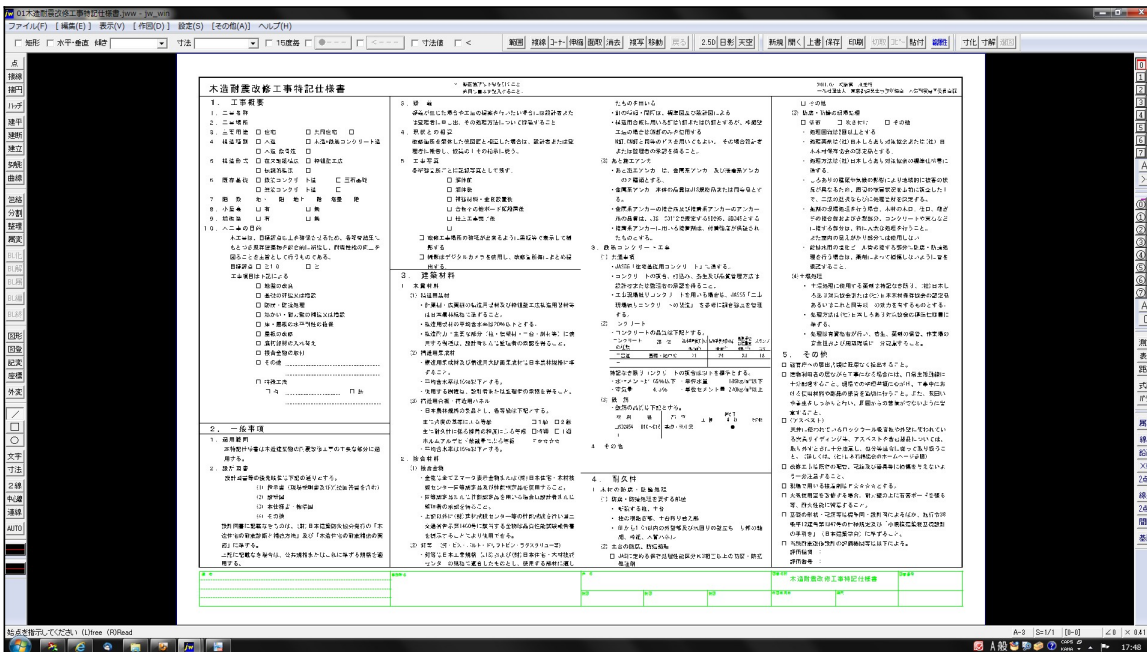
- 01 木造耐震改修工事特記仕様書
(CADデータ：AutoCAD、DRA-CAD、JwCAD 画像データ：BMP、JPG、TIF 参考図：PDF)
- 02 木造耐震改修標準図(1)
(CADデータ：AutoCAD、DRA-CAD、JwCAD 画像データ：BMP、JPG、TIF 参考図：PDF)
- 03 木造耐震改修標準図(2)
(CADデータ：AutoCAD、DRA-CAD、JwCAD 画像データ：BMP、JPG、TIF 参考図：PDF)

- ・各CAD表示画面一例
使用CADのバージョンの違いにより見え方が異なる場合があります。

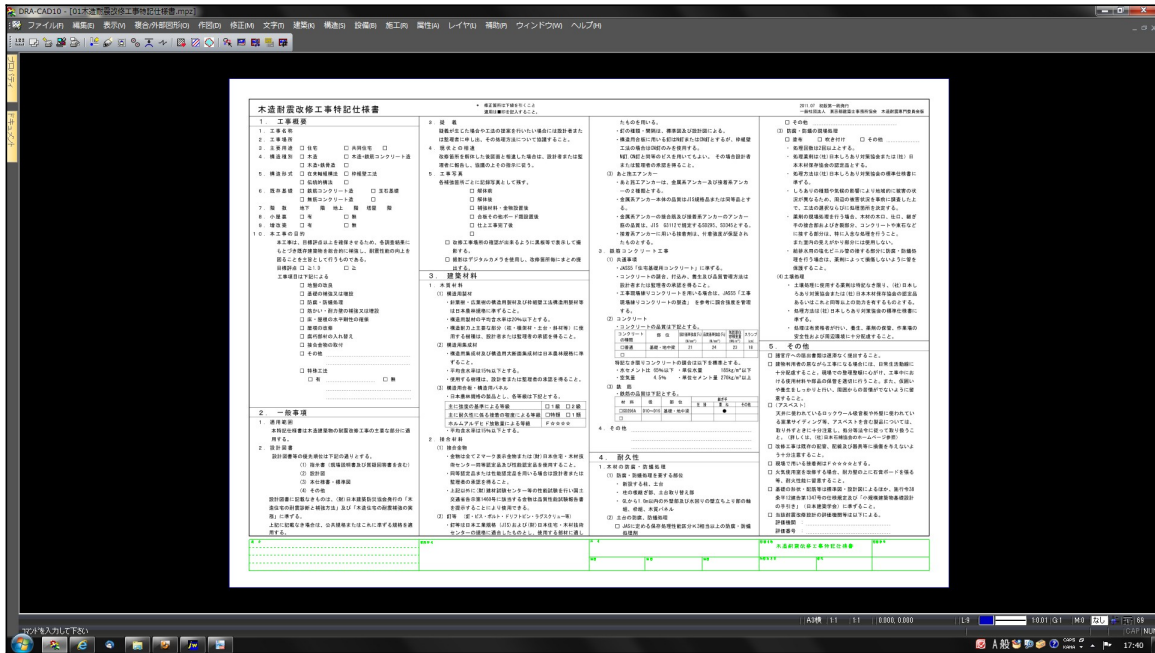
AutoCAD表示画面



JwCAD表示画面



DRA-CAD表示画面



- ・使用方法
書き込み等はCADで行って下さい。
書き込み例を赤色で表しています。

CADにて文字を書き込みして下さい。

木造耐震改修工事特記仕様書		* 修正箇所は 適用は■印
1. 工事概要	3. 疑義	疑義が生じた場合や工法の提 は監理者に申し出、その処理
1. 工事名称 ○○○邸新築工事	4. 現状との相違	改修箇所を解体した後図面と 理者に報告し、協議の上その
2. 工事場所 東京都○○区○○1丁目2-3	5. 工事写真	各補強箇所ごとに記録写真と
3. 主要用途 ■住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 解体前	<input type="checkbox"/> 解体後
4. 構造種別 ■木造 <input type="checkbox"/> 木造+鉄筋コンクリート造	<input type="checkbox"/> 補強材料・金	<input type="checkbox"/> 合板その他ホ
<input type="checkbox"/> 木造+鉄骨造 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 仕上げ完了	<input type="checkbox"/>
5. 構造形式 ■在来軸組構法 <input type="checkbox"/> 枠組壁工法	<input type="checkbox"/> 改修工事場所の確認が出	
<input type="checkbox"/> 伝統的構法 <input type="checkbox"/>		
6. 既存基礎 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 玉石基礎		
■無筋コンクリート造 <input type="checkbox"/>		
7. 階数 地下 -階 地上 2階 塔屋 -階		
8. 小屋裏 ■有 <input type="checkbox"/> 無		
9. 増改築 <input type="checkbox"/> 有 ■無		
10. 本工事の目的		
木工事仕 日種評占以上を確保させるため 各調査結果に		

CADにてハッチング又は色塗りをして下さい。

- ・記載事項の変更、訂正について
画像データの直接の修正を禁止します。
必要に応じた各修正はCADにて行って下さい。

木造耐震改修工事標準図（１）		* 修正箇所は下 適用は■印を
<p>1. 基礎</p> <p>1-1. 新設基礎 □ 適用</p> <p style="color: red; text-align: center;">必要に応じ修正して下さい。 ※画像データを直接修正することは禁止します。</p>	<p>2. 構造用合板</p> <p>2-1. 大壁仕様 柱・梁接合金物</p>	
<p>1-2. 基礎補強 □ 適用</p> <p>床下換気口開口補強の方法 床下換気口部分は防虫防鼠金網取付ける □ 適用</p> <p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存基礎にひび割れがある場合、エポキシ樹脂等により補修する。 2. 既存コンクリートと生コンとの接着性を良くする為に目荒しをする。 	<p>2-2. 真壁仕様</p> <p>注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 構造用合板の厚さは9mm以上とする。 2. 合板四周(土台、柱、梁)と間柱に釘打ちす以内とする。N50、CN50と同等のビスを用いは使用してはいけない。 3. 面材にくぎ打ちするときは、釘頭が面材に露出は10mm以上15mm程度とし、面材端部 	

フォルダ構成は以下のようなになっています。

